

日本・北マケドニア友好プロジェクト2023  
～スコピエ大地震60年メモリアル～

# 佐手麻珠 & エマ・ポピヴォダ ピアノデュオリサイタル

Asami Sate & Ema Popivoda piano duo recital



ドビュッシー：小組曲  
Debussy : Petite suite

サン＝サーンス：動物の謝肉祭  
Saint-Saens: Carnaval des animaux

日本の四季  
Japanese Four Seasons

ブザロフスキ：ミリスの思い出  
Buzarovski : Dali pametvis Milice

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ  
Ravel : Pavane pour une infante défunte

ラヴェル：ラ・ヴァルス  
Ravel : La Valse

2023 6.30 (金) 19:00

栃木県総合文化センター サブホール  
Tochigi Prefecture Cultural Center Sub Hall

2023 7.7 (金) 19:00

サントリーホール ブルーローズ  
Suntory Hall Blue Rose

全席自由 4,000円  
(当日券 4,500円)

主催：一般社団法人ヴァリエーション  
共催：公益財団法人とちぎ未来づくり財団 (6/30)  
お問合せ info@variation-piano.com



私たちのピアノデュオは共通の友人の縁で2016年に結成しました。アンサンブルとは化学反応に等しく、出逢ってすぐに良きパートナーになることを感じ取ったのをお互いに覚えています。以後、日本と北マケドニア共和国両国大使館や多くの方々の応援を頂きつつ、二国間の文化交流を続けています。

北マケドニア共和国における在留邦人数は約30名、在日同国人は約50名と数字上は細い交流ですが、1963年スコピエ大地震で街の8割が倒壊した際に復興都市計画に寄与したのが丹下健三氏でした。都庁舎や代々木競技場はじめ東京を象徴する建築を手掛ける氏がスコピエを救った史実を現地では子供達も熟知し大親日国である一方、日本人には国の存在すらあまり知られていません。私たちの音楽を通じて皆様に日本と北マケドニアの深く強い繋がりをお伝えし、二国間の友情関係が発展することを切に願いながら活動を続けています。



佐手麻珠 Asami Sate

エマ・ポピヴォダ Ema Popivoda

宇都宮出身。東京音大、ロンジー音楽院大学院演奏課程修了。プラハ、ウィーン、ボストンをはじめ国内外で研鑽を積む。大阪国際音楽コンクール入賞。04年飯塚毅育英会奨学生として渡米後、ボストンにてデビュー。在学中より公演プロデュースにも取り組み、米国ホットスプリングス音楽祭ではアート・マネジメント・フェローとして参加。以後、一流オーケストラやソリストによる公演や教育プロジェクトを多数手掛ける。16年Festival of Contemporary Music Madoarsの招きにより北マケドニア共和国にて初リサイタルを行い、現地の新聞やウェブ、ラジオにも登場。以来毎年招かれ、大使館等の支援のもと文化交流に注力している。2022年のリサイタルには欧州はじめ世界各国の大使や政府関係者が臨席されたほか、音楽学校でのマスタークラスは類稀な注目を集め、メディアにも大きく取り上げられた。近年ではワインエキスパートや Sake Diplomaの資格を活かしたピアノとお酒のコンサートも人気を集めるなど、演奏家兼プロデューサーとしてグローバルな活動を展開。とちぎ未来大使として故郷の文化国際交流発展のために努めている。

音楽一家のもとに生まれる。スコピエの聖シリル・メソディウス大学を首席で卒業。同大学での修士号および博士号も取得。その後、モーツァルテウム夏期国際音楽アカデミーや、英国ダーティントン・アカデミーなどにも参加。世界で最難関の1つと言われるケンブリッジ大学のIGSCE(International General Certificate of Secondary Education)も持つ。これまでにロンドン、ニューヨーク、東京、ローマ、ブダペスト、ブリュッセルなど世界各地に登場。クラシックからフュージョンまでと非常に幅広く、またマケドニア人作曲家たちによる作品にも積極的に取り組み世界に発信している。仏カンヌではテクノミュージック界の最も偉大なるDJの一人であるデリック・メイとの共演で大注目を集めたほか、クラブミュージックをクラシックに適合させた最新のプロジェクト”Acoustic electronics”はオーストリア、クロアチア、モンテネグロなどでセンセーションを巻き起こし、聴衆や評論家から非常に高く評価されている。さらにはジョルゲ・イヴァノフ元マケドニア共和国首相より”Global bridges”のメンバーに任命され、芸術文化における若きリーダーとして国際的なキャリアを重ねている。